

文化財に関する取り組みについて

1. 令和3年度の主な取り組み実績

(1) 普及啓発事業

① HIRATAKARA クイズラリー（開催期間：令和3年7月1日～11月30日）

市内歴史文化遺産を「HIRATAKARA（ひらたから）」（枚方の宝物）として広く知っていただくことを目的に、開催期間内に枚方宿鍵屋資料館・旧田中家鋳物民俗資料館、きらら展示ルーム、百済寺跡・楠葉台場跡を訪れ、クイズに答えた参加者に、枚方市観光大使・たけうちひろ氏が枚方の文化財をモチーフにデザインしたクリアファイルをプレゼントするクイズラリーを実施し、102人が参加した。

② HIRATAKARA 展（開催期間：令和3年9月29日～10月4日）

市内歴史文化遺産を「HIRATAKARA（ひらたから）」（枚方の宝物）として広く知っていただくことを目的とした展示会を、枚方市総合文化芸術センターひらしん美術ギャラリーで開催した。埋蔵文化財【百済王氏の至宝】、民俗文化財【水辺のまち、水辺の暮らし】といったテーマごとの展示の他、関連イベントとして、「枚方 PR 大使・たけうちひろ 切り絵原画展」「文化財柄のエコバッグづくり」「文化財お宝上映会」を開催し、来場者数は、1,142人であった。

③ 特別史跡百済寺跡啓発イベント（開催日：令和3年11月23日）

百済寺跡公園において、百済寺跡発掘調査、再整備事業の解説や※大阪工業大学の協力で作成した百済寺創建時の金堂、東塔、西塔のARの体験イベントを開催し、65人が参加した。百済寺跡見学後、常翔啓光学園中学校・高等学校内に移動し、同学内にある「禁野本町遺跡」発掘調査のパネル展示・解説などを実施した。

※大阪工業大学の協力：Hirathon（ひらかたアイデアソン・ハッカソンプロジェクト）という産官学で地域の課題を解決するプロジェクトの一環。

④ 枚方宿まちかど歴史展示（開催期間：令和3年11月19日～12月19日）

枚方宿まちづくり協議会・枚方文化観光協会と合同で、江戸時代に京街道の宿場町として賑わった「枚方宿」にある6店舗を会場にして「枚方宿まちかど歴史展示」を開催し、市が保管するくらわんか茶碗や弥生時代の土器、民具など6種類を1店舗1種類ずつ展示した。

(2) 調査・保存

① 埋蔵文化財関係

文化財保護法届出・通知件数 735 件

本発掘調査 1 件 試掘確認調査 25 件 工事立会件数 217 件

・禁野本町遺跡第 233 次調査：奈良時代後半から平安時代初め頃の大型両面廂付掘立柱
建物や堀状遺構などからなる宅地の一角を発見。

・楠葉野田遺跡第 564 次調査：安養寺隣接地で平安時代前期の宅地跡を発見。

⇒「ケイジョウ屋敷」に関連か？

② 枚方田中邸のむくの樹勢回復

「枚方田中邸のむく」は、樹齢 600 年と推定されるニレ科の落葉高木で、府の天然記念物（昭和 45 年指定）であるが、枯枝が多く、台風による被害もあり樹勢に衰えが目立つため、平成 30 年度に樹木医の樹木診断を実施し、令和元年度から 4 か年の養生計画を作成して樹勢回復を図っている。令和 3 年度は、土壌改良・液体肥料の注入・定点観測を行った。

2. 令和 4 年度上半期の主な取り組み実績

(1) 普及啓発事業

① 市民歴史講座及び文化財報告会の実施（開催日：令和 4 年 6 月 25 日）

市職員による文化財報告会と市民歴史講座「百済王氏の寺と街」を実施し、53 人が参加した。報告会と講座終了後は、「ブラタカシ 百済寺跡・禁野本町遺跡編」上映もしくは「特別史跡百済寺跡 発掘調査パネル展」の解説会のいずれかに選択制で参加いただいた。

② 「ブラタカシ」の広報掲載と You Tube 動画公開

市長が文化財課職員の案内で市内文化財を巡る企画から始まった「ブラタカシ」の第 2 弾として、枚方寺内町の歴史を紹介する「かつて枚方は宗教都市だった?!」を広報ひらかた 7 月号に掲載するとともに、YouTube でも動画を公開した。

※第 1 弾：「枚方に古代都市!? 百済寺跡の謎に迫る」

特別史跡百済寺跡と禁野本町遺跡を紹介（令和 2 年 12 月広報掲載）

(2) 調査・保存

① 埋蔵文化財関係

文化財保護法届出・通知件数 321 件 (8 月 31 日現在)

試掘確認調査 11 件 工事立会件数 91 件 (8 月 31 日現在)

- ・枚方寺内町遺跡第 33 次調査：枚方地内町に関係する建物や埋甕を発見。
- ・禁野本町遺跡第 237 次調査：古代の掘立柱建物 2 棟及び方形竪穴建物 1 棟を発見。
- ・星丘西遺跡第 315 次調査：弥生時代の円形竪穴建物 2 棟を発見。
- ・中振北遺跡隣接地調査：室町時代初頭と平安時代後期の二面の遺構面より生活の痕跡を確認。⇒ 本調査協議中。

② 大阪府指定天然記念物 枚方田中邸のむく樹勢回復事業

平成 30 年度に樹木医の診断により、立案した同天然記念物の樹勢回復計画（令和元年～令和 4 年）に基づき、樹が立地する法面に液体肥料を注入するほか定点観測を行い樹勢の回復を図る。

3. 令和 4 年度下半期の主な取り組み予定

(1) 普及啓発事業

① くらわんか鋳物ツーリズム（開催日：令和 4 年 10 月 10 日、11 月 3 日、23 日）

市内事業者と共同で、小中学生を対象に、旧田中家鋳物民俗資料館と市内の鋳物工場を巡り、鋳物の歴史や企業の取り組みに興味を持ってもらうイベントを開催予定。

資料館では、鋳造の歴史について、展示品を見ながら解説を聞いた後、鋳物作り道具などを使った体験学習を受講する。

② 特別史跡百済寺跡歴史ウォーク（開催予定日：令和 4 年 11 月 12 日）

大阪工業大学、常翔啓光学園高等学校・中学校の協力のもと、百済寺跡公園を起点とした百済寺跡周辺のウォークイベントを実施予定。

※大阪工業大学の協力：ソーシャルイノベーションチャレンジ 2022（旧 Hirathon。産官学で地域の課題を解決するプロジェクト）の一環。

③ 枚方宿まちかど歴史展示（開催期間：令和 4 年 12 月 1 日～12 月 18 日）

昨年度に引き続き、枚方宿まちづくり協議会・枚方文化観光協会と合同で、江戸時代に京

街道の宿場町として賑わった「枚方宿」に所在する9店舗を会場として、主に各家に古くから伝わる民具を展示する予定。

(2) 調査・保存

① 埋蔵文化財関係

通常の試掘確認調査のほかに、区画整理等の大規模事業に伴う調査が数件あり。

- ・(仮称)枚方市茄子作土地区画整理事業に伴う試掘確認調査 事業規模 20万7千㎡
調査予定面積 令和4年度：約700㎡。令和5年度：約1200㎡、令和5年度以降は公益財団法人大阪府文化財センターに依頼。
- ・光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業(第1街区建設工事)に伴う発掘調査
令和4年度上半期中の振北遺跡隣接地調査で確認。調査予定面積 約400㎡
- ・杉三丁目地区地区計画に伴う試掘確認調査。事業規模約3万㎡。調査計画策定中。
- ・(仮称)村野駅西土地区画整理事業に伴う試掘確認調査。事業規模14万㎡。調査計画策定中。

② 大阪府指定天然記念物 光善寺のさいかち樹勢回復事業

光善寺のさいかちは、平成25・26年度に土壤改良作業を行い、以後、経過観察状態である。令和3年度に樹木医による診断を行ったところ、再度の土壤改良作業が必要との意見が出たため、令和4年度冬季に樹勢回復事業を実施する。

なお、事業主体である所有者に対し、枚方市文化財保存活用基金を財源とする補助金を支出する予定。

③ 鍵屋別棟の国登録有形文化財申請

→詳細は、案件4において、後述。